

1月



1月11日 消防団出初式

- 1日(木) 元朝祭  
新春ラジオ体操集い  
4日(日) 府相区新年交札会  
7日(水) 蒲郡商工会議所新年交札会  
8日(木) 蒲郡警察署感謝状贈呈式  
9日(金) 県政振興・教育治安調査会  
11日(日) 蒲都市消防出初式  
蒲都市成人式  
12日(月) 坂本町大怨仏・戦没者追悼会  
13日(火) 産業振興・農林水産・地域振興調査会  
14日(水) 社会基盤整備調査会 建設部  
健康福祉調査会 健康福祉部・病院事業部  
15日(木) 鶴ヶ浜愛信会総会  
16日(金) 大塚・相楽・海陽ふるさと博物館新年会  
20日(火) 愛知県LPガス政治連盟との意見交換会  
21日(水) 国際交流議員連盟 スリランカ  
25日(日) 中日真理会議蒲郡支部  
27日(火) JC1月定時総会並びに懇親会  
29日(木) 第8回オレンジコンペ  
30日(金) 第7回みなどアシス会議

2月



2月14日 蒲都市みかんワイン発表会

- 1日(日) 県知事選挙  
2日(月) 東三河地域 私学関係者の懇談会  
3日(火) 蒲郡鉄工会節分会並びに新春恒例会  
6日(金) 水産議員連盟調査  
8日(日) 三河湾健康マラソン  
13日(金) 都市計画道路 大塚全野線の早期整備要望  
14日(土) 農林水産祭 ~2月15日(日)  
蒲都市みかんワイン発表会  
17日(火) 日中友好愛知県議会議員連盟講演会  
18日(水) 蒲郡市一般廃棄物最終処分場公害防止協議会  
20日(金) 私立幼稚園推進大会  
25日(水) 県議会 本会議 開会  
農政議員連盟・ワーアー産業振興議員連盟総会  
中部日本料理研究会 豊隆会第83回総会  
オイスカ等国際交流推進議員連盟講演会  
26日(木) 県議会 議案説明 (地域振興環境関係)  
保育議員連盟・山村麗島振興議員連盟総会  
27日(金) 県議会 議案説明 (産業労働関係・農林水産)  
水産議員・畜産振興議員連盟総会  
28日(土) 母子・寡婦意見交換会

## 編集後記

皆様のご支援をいただき、2期目の再選には身の引き締まる思いであります。かわら版のデザインも一新させていただき、新たな気持ちで議員活動に精進努力してまいります。これからも県民の皆様の負託に応えるべく、県政かわら版を通して情報をお伝えしてまいります。ぜひブログをご覧いただき、ご意見ご要望をぜひお聞かせいただければ幸いです。また、蒲形公園西(緑町5-19)に事務所を開いています。お気楽にお立ち寄りください。

## ひだ常年事務所

〒443-0048 蒲郡市緑町5-19  
TEL. 0533-68-1288  
FAX. 0533-68-1286

E-mail. joenen@sk.aitai.ne.jp URL. http://hidatsunetoshi.mie1.net/

3月

5月



- 1日(日) 平成26年度愛知県民俗芸能大会  
2日(月) 県議会 議案説明 (建設関係・文教関係)  
土地改良議員連盟総会  
3日(火) 県議会 議案説明 (警察関係・総務県民関係)  
商店街振興議員連盟総会  
5日(木) 県議会 一般質問  
6日(金) 県議会 一般質問  
8日(日) 第32回福祉まつり開会式  
9日(月) 県議会 一般質問  
10日(火) 県議会 議案質疑  
11日(水) 県議会 議案質疑  
12日(木) 産業労働委員会・県議会 本会議  
13日(金) 産業労働委員会・県議会 本会議  
15日(日) 第5回和らく会  
19日(木) 第26回調理長・料理長研修会  
20日(金) 県議会 本会議 閉会  
自民公認証授与式  
25日(水) 第3回「東三河ビジョン協議会」  
蒲郡市柏橋同志会総会  
26日(木) 豊橋市立くすのき特別支援学校 基式・内覧会  
29日(日) 三河港蒲郡竹島11メートル岸壁供用開始記念式典  
31日(火) 愛知県理容性格衛生同業組合蒲郡通常総会

6月



- 2日(木) 形原地区支線バス竣工式  
3日(金) 県議会選挙告示 出発式  
5日(日) 蒲郡市消防団辞令交付式  
10日(金) 蒲郡商工会議所青年部会員総会  
12日(日) 県議会議員選挙  
平成26年度蒲郡市歯科医師会定期総会懇親会  
13日(月) 愛知県美容業生活衛生同業組合蒲郡支部総会  
17日(金) 蒲郡鉄工会定期総会  
18日(土) 平成27年度蒲郡竹島健康マラソン中学生柔道大会  
蒲都市体育協会総会  
20日(月) 蒲都市民生児童委員協議会総会  
22日(水) (公財)不老会蒲郡地区総会  
24日(金) 第22回蒲郡市柏橋組合通常総会  
25日(土) 平成27年度蒲郡市文化協会総会  
市議会議員選挙  
愛知県建設組合連合蒲郡支部定例総会  
26日(日) 市議会議員選挙  
愛知県農業生産組合蒲郡支部定例総会  
27日(月) 自民党県議団設立総会  
28日(火) 蒲都市土木協会総会  
29日(水) 第15回森の文化祭  
30日(木) 愛知県護國神社みたま祭

\*この他に、各地区的敬老会、運動会、神社祭礼等に参加させていただいている。

蒲郡の声を県政へ  
県政をもっと身近に

愛知県議会議員 自由民主党蒲郡市支部長

# ひだ常年の 県政かわら版



4月3日告示 12日投票の統一地方選挙 県議会議員選挙  
無投票にて2期目を再選

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

4月の統一地方選挙の県議会選挙には皆様方のご支援のもと、2期目を無投票にて再選させていただきました。初心を忘れず、引き続き県民の福祉向上と県政発展のため全力で頑張る所存であります。

愛知県議会6月議会も閉会し、今年度は振興環境委員会の委員長を拝命しました。更なる精進、努力をさせていただきたいと思います。今後も皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



平成27年度 常任委員会は《環境振興委員会 委員長》に就任しました  
観光振興やスポーツ振興、交通体系など地域振興に係ることと産廃や設楽ダム、大気汚染など環境全般に係る事項の委員会です。皆様の声をしっかりと県政に届けます



愛知県議会議員 飛田常年

## 平成27年度 役職

- 振興環境委員会 委員長 (常任委員会)
- 名古屋港管理組合 議員 (進行係)
- 自民党愛知県議員団 副政調会長
- 自民党愛知県議員団 観光振興プロジェクトチーム座長
- 自民党愛知県議員団 農政議員連盟 幹事兼事務局長
- 自民党愛知県議員団 水産振興議員連盟 幹事兼事務局長
- 自民党愛知県議員団 県土整備促進連盟 幹事兼道路副部会長

# 愛知県議会 6月定例議会での私の一般質問

## 1. 農作物の鳥獣被害対策について

**Q1.** 全国的に野生鳥獣が増えており、農作物への被害が深刻化している。環境省と農林水産省では、「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」を共同でとりまとめ、平成24年末のニホンジカとイノシシの推定生息数413万頭を、今後10年間で半減するという目標を掲げた。本年5月に、改正鳥獣保護法が施行され、従来の「保護」重視から、有害鳥獣の適正な個体数調整も含む「管理」重視へと方向転換がなされた。

農作物への年間被害総額は、平成25年度で、約4億円にのぼっている。早急な手立てが必要である。

平成24年度から、鳥獣被害防止特措法に基づいて「鳥獣被害対策実施隊」の設置が推進され、愛知県では11隊が設置されている。実施隊への機能強化や助言と支援もお願いする。

そこで、まず県として、これまで農作物の鳥獣被害対策にどのように取り組んできたのか、伺う。

**Q2.** 鳥獣被害対策の一環としてのジビエの活用について

捕獲したイノシシやシカの肉を地域の特産品にするという、人命優先の避難において、同行が可能か、避難所で飼う場所はあるのか、餌や水は確保できるのか、など不安がある。

毎年、「どんぐりの里いなぶ」で県が開催する「ジビエ・グルメ・グランプリ」に、4,600人が訪れるところ聞く。ぜひ、名古屋方面でもPRする機会を増やして、「愛知産ジビエ」として、認知され、消費が拡大することを期待する。

捕獲したイノシシやシカなどの野生鳥獣を「害獣」のまま終わらせるのではなく、見方を変えて、山の恵みとして活用すれば、供養にもなり、地域の活性化につながり、ひいては捕獲の励みにもなる。

そこで、今後、ジビエとしての食肉活用を含めて、鳥獣被害対策にどのように取り組んでいくのか伺う。

**A.** 鳥獣被害対策実施隊については、現在県内の11市町村に設置され、県としては、その活動経費を助成していく。また、この5年間で、わな猟免許の取得者を7割増加し、新たな捕獲の担い手の育成にも努める。

捕獲された有害獣のジビエとしての活用は、捕獲、加工処理から消費されるまでの仕組みづくりが必要で、加工処理場は、現在、岡崎市、新城市、設楽町の3か所に設置され、さらに豊田市にも設置が予定され、年間捕獲頭数の約12%の獣肉が活用できる体制となる。

「ジビエ・グルメ・グランプリ」を久屋大通公園で開催される「ふるさと全国県人会まつり」やモリコロパークで開催される「全国都市緑化あいちフェア」で、試食・販売やパネル展示などを行い、おいしい愛知産ジビエのPRに取り組んでいく。

今後の鳥獣被害対策としては、「侵入防止」と「捕獲」を組み合わせたより効果的な取組を進めるために、侵入防止柵については、わなど一体化した電気柵や金網柵の整備を支援していく。

今後とも、関係者と連携し、地域ぐるみで「侵入防止」と「捕獲」を両輪とする総合的な鳥獣被害対策を積極的に推進するとともに、「愛知産ジビエ」の有効活用を図っていく。(農林水産部長)



## 2. 災害時の被災動物対策について

災害が起きた場合、ペットがけがをしたらどうすればいいのか、人命優先の避難において、同行が可能か、避難所で飼う場所はあるのか、餌や水は確保できるのか、など不安がある。

また、ライオンやトラなどの猛獣やニシキヘビやワニガメなど、人に危害を加えるおそれのある危険な動物は、飼育施設が被災することによってオリ等から逃げ出など、人への危害も懸念される。

そこで、市町村の防災訓練にペットの同行避難を組み入れていただくことを提案する。体験をしてもらうことによって、いざという時の市町村の対応に活かせると思う。

また、愛知県と愛知県獣医師会で協定書を結び、愛知県獣医師会が運営主体となる動物救護施設における運営マニュアルを見直し、災害発生時に対応できるように提案する。

**Q1.** 平成25年6月に環境省の「ガイドライン」により、過去に被災した自治体が行った動物救護の実例が示されたが、南海トラフ巨大地震などが危惧される中、本県も万全の対策を講じておく必要がある。そこで、本県の災害時におけるペット対策について、現状及び今後の方針を伺う。

**Q2.** 危険動物が逃げ出し、速やかに捕獲されずに放浪してしまうと、被災地に住民が戻れなくなるばかりでなく、被災地の復興にも悪い影響を及ぼすこととなる。県は個人で飼っている危険動物の事例に対して優先的に対応する必要があると思うが、個人で飼っている危険動物に関する災害時の対策として、本県の具体的な取組について伺う。

**A.** 県内の38市町村において、同行避難の受け入れ方法を地域防災計画に記載するなど、体制整備が進められてきている。なお、防災訓練の際、同行避難訓練も実施しているのは、3市のみであることから、他の市町村にも実施を働きかける。

災害時には愛知県獣医師会と連携して、動物救護施設を動物保護管理センター敷地内に設け、負傷した動物や、飼い主不明となった動物の保護を行い、危険動物を飼育する際には、飼い主は法に基づき、オリなどに鍵をつけて逃走しない措置を講じる必要があります。万が一逃走した場合には、人に危害を加えない手立てを講じることとなっている。

危険動物の飼い主に対する電話確認や現地調査を行い、すべての危険動物について所在を確認し、逃げ出していた場合には、警察など関係機関と連携の上、捕獲等の迅速な対応を行うこととしている。

今後とも、県動物保護管理センター等が行う定期的な監視において、オリの施錠や飼育状況を確認するとともに、危険動物の飼い主に対して、エサ等の必要物資の備蓄など、災害に備えた平常時からの取組に関する啓発を行い、災害時の危険動物による危害発生の防止に取り組んでいく。(保健医療局長)

# 平成27年 2月定例議会での私の議案質疑

## (質問要旨) 第7款 産業労働費 第2項 商工業費

### 中小企業金融対策事業費について

(1) 県では、来年度、5,000億円の規模の制度融資枠を設け、経済環境適応資金に最も多額な2,242億円の融資枠を設定したが、この資金の性格について伺う。

**A.** 当資金は、県の施策目的に沿った事業展開を行う中小企業や、経済環境の変化により事業の安定に支障が生じるおそれのある中小企業に対して、金融支援を行うもので、具体的には、売上が減少している中小企業を支援する「サポート資金」や、経営革新、新技術開発、海外展開など、企業の経営基盤強化に取り組む中小企業を支援する「パワーアップ資金」、また、これから創業しようとする個人等や、創業間もない企業を支援する「創業等支援資金」などから成り立っている。いずれも融資利率を一般事業資金より低利としているなど、有利な条件設定となっている。(産業労働部長)

(2) 県では、来年度、県制度融資によって、中小企業に対し具体的にどのような金融支援を行っていくのか伺う。

**A.** 県では、従来から金融機関等と強調した制度融資を運営しているところで、中小企業の実情に即した制度の拡充を行っていく。

具体的には、円安等により利益が減少している方を対象とする、「サポート資金・経済対策特別」の取扱期間を1年間延長する。また、中小企業の設備投資意欲を喚起し、地域経済の活性化に資するため、パワーアップ資金に、0.2%ポイント金利を引き下げた「設備投資促進枠」を新設し、再来年度末までの2年間、設備投資の拡大を金融面から支援していく。

さらに、地域の経済・雇用を支えている小規模企業への支援を強化するため、「小規模企業等振興資金・小口資金」の金利を0.1%ポイント引き下げる。(産業労働部長)



小山産業労働部長 答弁

## 歳出 第9款 建設費 第2項道路 橋りょう費

### 道路の老朽化対策の推進について

県が管理する道路橋は、約4,400橋で、北海道、兵庫県、岐阜県に次いで全国4位の多さである。そして、供用後50年を経過した橋梁は、平成26年時点で約31%に上り、20年後には約70%に急増する。また同様に、県管理の58本のトンネルも、約41%から約64%になるときいている。

県下4,600kmある県道の維持管理についても、調査が必要であり、国内では年間4,000件以上の陥没事故が発生している。その多くは下水道管路に起因するようであるが、県内では2月にあま市篠田で深さ1.3m幅7メートル、長さ25メートルにも及ぶ陥没が起きている。

県は、限られた予算の中で道路の老朽化対策をどのように進められるのか伺う。

**A.** 橋梁については、平成19年度から23年度の初回点検で全体の約6割に、また、トンネルでは、平成23年8月の太和金トンネルの崩落事故を受けて実施した緊急点検で、全体の約3割にコンクリートのひび割れなどの何らかの損傷が見つかっている。

さらに、横断歩道橋や地下横断歩道などの主要な道路施設についても、点検の結果、高い割合で同様な損傷が見つかっている。

このため、来年度から平成31年までの5年間を「道路構造物の集中治療5箇年」と位置づけ、対応が急がれる施設について集中的に補修等を行っていく。

また、年度内に「道路構造物長寿命化計画」を策定し、これを基に点検・診断、補修及び計画の見直しといった一連のメンテナンスサイクルを継続的に回す。

県としては、道路パトロールなどによる異常の早期発見と早期対応はもとより、道路施設の長寿命化に向けた新たな取組などを確実に実行し、道路の安全性・信頼性をしっかりと確保していく。(建設部長)



市川建設部長 答弁

# Topics



3月29日(日)『三河港蒲郡地区・11m岸壁』1バース250mが完成し一部供用開始しました。  
今後の物流の拠点、さらにはクルーズ船が寄港できるよう港の発展に期待が持てます。



『国道23号蒲郡バイパス建設促進協議会』第10回総会  
5月29日(金)  
於:蒲郡商工会議所



『藤川政人 参議院議員  
(自民党県連会長)と会談』  
6月8日(月)  
於:参議院会館



『自由民主党蒲郡市支部定期大会』  
基調講演 太田房江氏  
「地方創生に向けて」  
6月28日(日)  
於:蒲郡市民会館 東ホール

東部区間、残り9.1km全体会で7割の買収が進んでいます。これから、五井トンネル・国坂トンネルの工事に入ります。一日も早い全線開通に努力させていただきます。

引き続き自由民主党愛知県支部連合会長として決定しました。  
益々のご活躍を祈念します。

地方創生について蒲郡市はまだまだ発展する余地があり、様々な知恵をだし、國へ提言をしてくれれば國も予算を出しますと明言されました。